特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 411 号] 令和 3 年 10 月 23 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

10/23 海ごみゼロウイーク

甚左衛門船着場/9 名 8 袋分

10 月 23 日(土)、定例活動に木村、古田、並木、三池、磯部親子、矢沢、井坂、中島の 9 名が、風間船着場と神明排水機場間 2.0 kmの活動で **8 袋分と木材 4 個の成果**でした。朝から晴れ渡り、穏やかな天気でしたが、今日も北風が吹き松原大橋をくぐるのが大変でした。風間船着場付近で U ターンして神明排水機場トンネルをくぐり甚左衛門船着場へ上陸しました。明日のサイサン環境保全基金役員をお迎えするイメージ作りでした。

10 月 23 日のゴミの分別

ペットボトル
2.0 袋＝2.5 kg
燃えるゴミ
5.0 袋＝20.0 kg
木材＝6.0 kg
燃えないごみ
1.0 袋＝3.5 kg
合計 8.0 袋
重量 32 kg

救助艇の艇庫設置要望書！

令和３年 11 月　日

草加市長　浅井まさし　様

要望書

自主水防団救助艇の艇庫設置の要望

日頃より、草加パドラーズの活動に対してご理解ご協力を賜り、お礼申し上げます。
草加パドラーズがカヌーで河川美化活動を始めて７年目になりました。
草加パドラーズを母体にして、草加市自主水防団を４月に発足させました。
来るべき利根川決壊を想定して、月末水曜日には落水者救助や洪水を想定しての人命救助の訓練を続けています。
これまで、和舟艇庫の横に、中根和舟の会が作った屋根付きの修理用工作場があって、そこを草加パドラーズの救助艇の艇庫として使用させてもらっていました。
しかし、７月に土地開発公社の指示で、文化観光課と中根和舟の会によって撤去されました。現在は、救助艇をブルーシートで覆って船体や船外機を保護しています。
そこでお願いがあります。
別紙・添付資料のような救助艇の艇庫が必要なので、ぜひ草加市自主水防団救助艇の艇庫設置をここにお願い申し上げます。

私たちは、備えよ常に・・の合言葉でこれからも利根川決壊を想定して、自衛隊、消防局の補完的な役割をしていきたいと考えています。
官民が協力して、草加市民の生命や財産を守る活動に結び付けていきたいと強く希望しています。

草加市自主水防団総括責任者
草加市カヌー協会　代表理事　中島清治
草加市自主水防団団長
草加パドラーズ　会長　木村高明

添付資料　１　草加市自主水防団規約
　　２　広域活動範囲概念図
　　３　所有救助艇一覧

危機管理課長には、草加市地域防災計画を基に、しっかりとした草加市地域強靭化計画をお願いしています。７年前の鬼怒川決壊で常総市が壊滅的な被害を被ったことを思い出してください。

署名活動の目標は 300 名。衆議院議員選挙が終わり次第、浅井市長さんにお目にかかり、お願いして参ります。署名活動にご協力ください!。